

令和 3 年 5 月 31 日

2021 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会 議事録

【目的】

自己点検・自己評価に対する評価や意見を戴き、学校改善・改革に繋げる

【日時・場所】

令和 3 年 5 月 31 日(月) 10:00~11:30 (実時間)

福岡ベルエポック美容専門学校 8 階 801 教室

【学校関係者評価委員】

高校関係者 矢ヶ崎 裕和 様 (福岡県立香椎高等学校 校長)
業界関係者 早田 健 様 (ロッタアニバース 代表)
矢田 綾香 様 (一般社団法人 日本化粧品検定協会 顧問)
地域関係者 春山 大輔 様 (大浜自治協議会 大浜祭り委員会委員長)
保護者代表 江口 亜希子 様 (ブライダルコーディネーター科)
卒業生代表 力武 毬絵 様 (美容師科)

【本校委員】

学校長	田中 浩一
事務局長	佐藤 誠
教務・キャリアセンター部長	望月 健司
美容師科学科長	加藤 真也
トータルビューティ科・ヘアメイク科学科長	水谷 将也
ブライダルコーディネーター科学科長	柴田 薫
広報センター長	成本 佳樹
高等課程準備室長	古川 喜春 (議事録)

【議事内容】 進行：望月

■開会のあいさつ 学校長 田中

緊急事態宣言延長となってしまったこの時期に、本委員会の開催につきご出席戴きまして、深く感謝申し上げます。

昨年度はコロナ禍の影響で、多くの変化があった一年でした。授業については、オンライン・対面と並行しながら実施し、社会ではデジタル庁が設置されたりオンライン化が

さらに進んでいくと思われます。

外部実習については、安全に実施するためにどのような工夫が必要か、ぜひ業界の皆様からご意見を戴きたい。昨年度は外部実習のほとんどが中止となってしまいました。

ICT教育の促進では、自らVR授業を体験し進化を体感しました。

入学してくる学生の価値観の多様化で、様々な経緯での入学者が増えました。

コロナ禍の中で一年程経ち、消毒、換気、手洗い、マスク着用など感染防止対策を徹底しています。

本日は限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見を戴きたい。

■委嘱状の交付 事務局長 佐藤

本日来校されていない委員の方へは、郵送いたします。

■委員会の目的 事務局長 佐藤 ※詳細はP.P資料参照

①評価委員会構成（紹介）

②学校関係者評価委員会の目的

各学校が自らの教育活動等の成果や取り組みを不断に検証することにより、

- 1.各学校が自らの教育活動そのほかの学校運営について、組織的・継続的な改善を図る
- 2.学校評価の実施・結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、その連携協力による学校づくりを進めること
- 3.設置者が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、教育水準の保証・向上を図ること

③評価の実施方法

④職業実践専門課程 ※文部科学省告示第133号平成25年8月30日

目的：職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定する制度

⑤学校関係者評価の具体的なスケジュール

～5月 昨年度の自己点検・自己評価の実施

5/31 「第1回学校関係者評価委員会」 自己評価結果に関する評価と提言

6月～ 本年度事業計画の修正または次年度事業計画に反映

10/25 「第2回学校関係者評価委員会」

⑥2020年度重点目標 ※2019年重点項目自己評価概要

1)企業コラボによる産学協同教育の推進

- ・2020年度150件の実施目標 →×(コロナの影響を受けた1年であった)
- ・重点コラボを実習授業との単位認定 →×

- ・質の向上と実習先企業との関係強化 →▲
- 2) トップサロンゼミ・トップブランドゼミの実施
 - ・計画的な実施(来校型とオンライン型を併用し最新の学びを提供する) →▲
- 高校2年生広報の強化と広報システムの確立
 - ・高校との関係強化(指定校)実施 →▲計画性を持って実施した就職計画の構築
 - ・授業と行事、説明会の連動性を持たせる。オンライン就職活動に対応する →×
 - (計画的にできなかった、就職未内定で卒業した学生がいた)

⑦5カ年の重点目標 ※2019年重点項目自己評価概要

5ヶ年(2017年～2021年)の重点目標

- 中途退学率0を目指す
 - 専門職就職率95%以上を毎年継続する
 - 卒業後1年以内専門職離職率0を目指す
- を重点目標として取り組んだ

また上記目標以外に、入学生確保を最重要事項として取り組んだ

⑧2020年度の達成状況 ※2019年重点項目自己評価概要

2021年までの5ヶ年の目標

- 中途退学率0の達成
 - 2020年度実績(5.3%：昨年7.5%)432名中23名の中途退学者
- 専門職就職率95%以上を毎年継続する(2020年度専門職就職状況97.2%)
 - ※就職希望者全員就職決定率84.3%(就職希望者127名)卒業生171名
- 卒業後1年以内専門職離職率0を目指す(2020年度離職率(13.5%：昨年16.6%))
 - ※離職率2020年3月卒業の1年以内の離職状況141名の就職者のうち19名離職
 - 入学者数242名入学(昨年238名)

⑨2020年度重点項目 自己評価大項目

別紙『学校関係者評価委員会 会議資料』も合わせて参照

⑩今後の課題

- 中途退学率0の達成
- 卒業後1年以内専門職離職率0
- 専門就職100%
 - 入学生の変化やニーズ(中退率0)・業界のニーズ(1年以内離職率0)を実現するには教育プログラム/就職支援プログラムの整備と関わる人材の養成が重要と考える
- 入学者確保と予算執行の健全経営
 - 同分野多くの専門学校がある中、受験生に的確に学校の特長をよりの確に示す更なる努力と、経済的理由から進学を断念する受験希望者の対応を充実させる
 - 更に予算書=決算書となるようスタッフが意識して運営を行うことが大切

- 1.就職希望者全員内定
- 2.福岡ベルの強みである「現場力教育」の企業コラボの数を増やす
- 3.ICT 教育推進

①昨年のコロナ対策、校内感染者、学園グループ校のコロナ禍について

■質疑応答を含めたご意見

春山様)

日頃、大浜自治協議会へご協力に感謝しています。

今後もより関係性を深めていき、学生の未来将来を考える学校と、大浜地区の未来将来を考える自治で連携していきましょう。

早田様)

就職活動においてはオンライン対応の会社が増えていますが、昨年感じていた学生の傾向としては、そう大きな変化は感じられませんでした。それは1年次で通常登校してしっかり教育を受けていたからだと思います。

それが今年2年生に対しては少し様相が変わってきているのではないのでしょうか。昨年一年間オンライン授業が多かったことで、意識の切替えがなかなか出来ていない学生が増えたと感じます(高校生気分が良くない意味で残っていて、例えば現場実習を受け入れてもなぜ実習をしなければならないのか、という理解が足りないから自分都合を優先してスケジュール変更など簡単に申し出てくるケースが増えた)。

ただそれは学生の責任でもなく、ましてや学校の責任でもない。コロナ禍でのオンライン授業の弊害かと思うので、今後はその点で教育を変えていく必要があるかもしれません。授業に心・意識の教育を取入れるなど。

また就職支援について、学校がどういう企業が良い(勧めたい)のか？が現社会と見解の相違があるかもしれないと、ふと思いました。

江口様)

娘の様子を見ていると、就職や活動に対して緊張感や焦りを感じられない。自分の頃よりも意識改革が不足している感があるので、学校でより教育をしてほしいと要望します。就職する大切さや責任感、嫌になったら辞めるという考えをしない意識をつけてほしいと思います。

矢田様)

滋慶学園は学生数が日本で様々な学校を持っているので、スケールメリットを活かしてコロナ対策や就職対策を立てられているので、大変良いと思います。全国の美容学校を見ると、大都市圏であってもオンライン授業を導入していない学校が多くあるの

が実情です。

検定試験は予定通り実施し、1万人の受験者いました。

■閉会のあいさつ 学校長 田中

貴重なご意見を沢山戴きまして、ありがとうございました。

ICT教育について伝えておきたく、価値観が多様化した学生への教育指導の中で、今までの教育内容では対応できないと実感しています。

また学校が発展していくには地域との連携が外せなく、本校は大浜地区と今後もさらに連携を深めていき、教育の推進を図っていきたい。

■次回：第2回 学校関係者評価委員会 10月25日(月) 10:00~12:00